



竜王町コンパクトシティ化構想の実現へ!

輝竜の郷づくり 新時代へのチャレンジ

vol.8



竜王小学校・公園を含む「交流・文教ゾーン」の整備が進んでいます

図書館の北側から町道東西線まで(綾戸地先)に「教育」と「交流」のための施設を集約し、「交流・文教ゾーン」として整備するため、道路・造成工事を開始しています。

「交流・文教ゾーン」整備の考え方

- 教育交流** 充実した教育環境と、子どもから子育て世代、高齢の方までの多世代が交流できる安全な空間にします。
- 交通安全** ゾーン内には歩行者専用道路を整備し車両通行を制限することにより、子どもたちや利用者の交通安全を守ります。
- 駐車場** 共用の駐車場を設け、学校行事やイベント時にも十分な駐車台数を確保します。
- 防災** 竜王小学校の防災機能を充実させ、新たに整備する公園、学校給食センター、コミュニティセンターと連携することにより、町全体の防災力を向上させます。
- 浸水対策** 浸水を想定した十分な盛土造成を行い、災害時には指定避難所としての機能が十分発揮できるようにします。あわせてゾーンからの雨水の排水を調整する調整池を設け、下流域へ影響が出ないようにします。

整備スケジュール

	令和6年度 (2024年度)	令和7年度 (2025年度)	令和8年度 (2026年度)	令和9年度 (2027年度)	令和10年度 (2028年度)
竜王小学校		建築	令和7年度末 完成予定		
学童保育所		実施設計	建築	令和7年度末 完成予定	
公園	基本設計 実施設計		整備		
竜王こども園		造成 (上下水道工事含む)		建築	
学校給食センター					建築
コミュニティセンター			建築		
道路および共用駐車場		整備			

現在、道路・造成工事を進めており、令和6年度は竜王小学校の建築工事、学童保育所や公園の設計などに着手する予定です。

新設する公園は、幼児や児童のための遊具設置や多世代が交流できる芝生広場の整備などを検討しています。また、災害時には避難場所となることから、防災機能・設備を備え、普段は防災を身近に感じ、防災力を高めるための学習の場になるよう進めていきます。

【公園整備のイメージ】



整備にかかる費用(現時点での見込み)

竜王小学校建築	42.1億円	
その他施設建築 ※学童保育所、竜王こども園 学校給食センター、コミュニティセンター	19.0億円	
公園整備・道路・造成・上下水道工事	16.0億円	
用地取得	5.9億円	
総整備費用	83.0億円	
財源内訳	国・県補助金	15.8億円
	地方債(借入金)	50.1億円
	一般財源(基金の充当を含む)	17.1億円

◎ 物価高騰などの影響により、総整備費用は現時点で83億円になる見込みですが、整備内容および費用については、十分に検討・精査するとともに、国・県の補助金を活用し、町の財政負担を軽減するよう努めます。

◎ 地方債(借入金)は、将来の財政負担を平準化し、安定した財政運営を図るものです。返済についても、健全な財政運営の範囲内です。

令和6年5月発行

【問合せ先】

・竜王町中心核整備課
TEL0748-58-3717 FAX0748-58-5050
・竜王町教育委員会事務局教育総務課
TEL0748-58-3710 FAX0748-58-2655



新竜王小学校の概要

整備のコンセプト

～竜王らしく キラリと輝く 『地域とともにある学校』 づくり～

整備の基本目標

1 あたかさと
やさしさのある学校

- ・自然と調和する『木木材』を活用した安らぎのある学校
- ・ビオトープ（自然の生態系を再現した空間）の設置

～竜王らしく キラリと輝く 『地域とともにある学校』 づくり～

2 学びが広がる・
広がる学校

- ・多様な学びができる「ワークスペース」の確保
- ・交流が広がる「まなびの庭」の設置

3 地域とともに
ある学校

- ・コミュニティスクール「学校運営協議会室」の設置
- ・地域の安全安心を守る防災拠点の機能強化

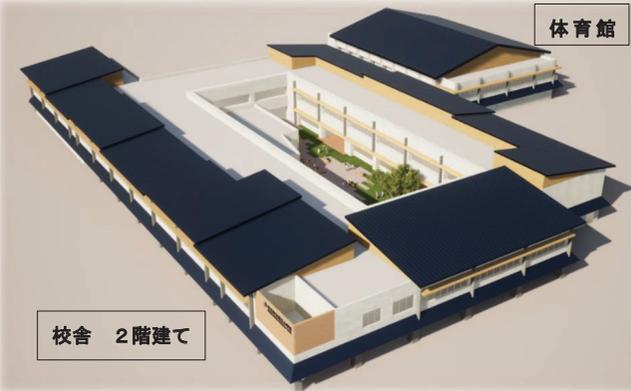
■配置・平面計画について

- (1) 各学年ごとに2つの通常教室と少人数教室を配置することで、クラス数の増減にもスムーズに対応できる計画としました。
- (2) 特別支援教室は余裕のある配置とするとともに、近くにエレベーターを設置し、特別支援教育の充実と寄与できるよう計画しました。
- (3) 水泳授業については、天候・季節に左右されず、また、専門の指導者による質の高い水泳指導ができる総合運動公園の温水プールを活用する計画としました。

■防災拠点施設としての機能について

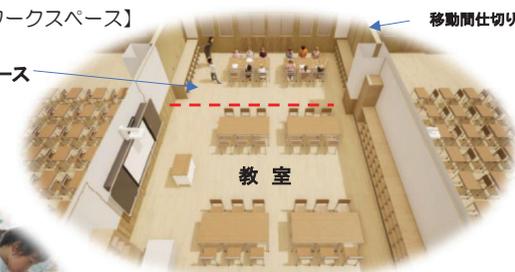
- (1) 災害発生時の避難所の暑さ寒さ対策として、体育館に冷暖房設備の設置を計画しました。
- (2) 体育館の床材については、クッション性のある塩ビシート張とし、避難所となった場合の快適性に配慮しました。
- (3) 1階に管理諸室、特別教室、1階南側角に特別支援教室、2階に通常教室を配置し、明確にブロック分けすることで、災害時の避難所が長期化した場合でも、教育活動が継続できるように配置しました。
- (4) 災害時においては、受水槽を活用し飲料水等を確保できる計画としました。

【南東上空から見るイメージパース】



【通常教室とワークスペース】

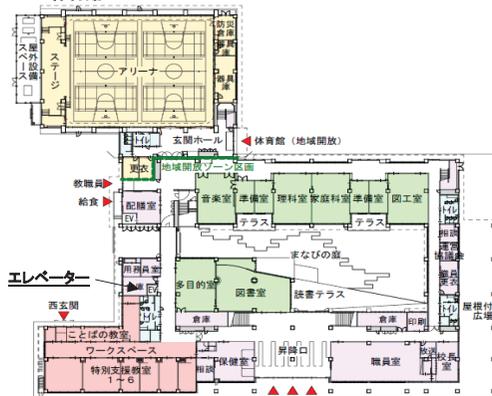
ワークスペース



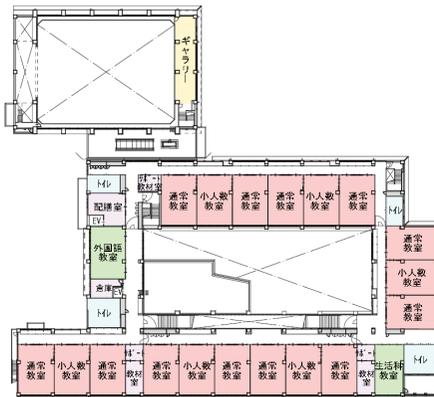
【町立小学校児童数とクラス数（R6.4.1 現在）】

学校名	全校児童数	クラス数	
		通常	特支
竜王小学校	371人	12	4
竜王西小学校	220人	9	3

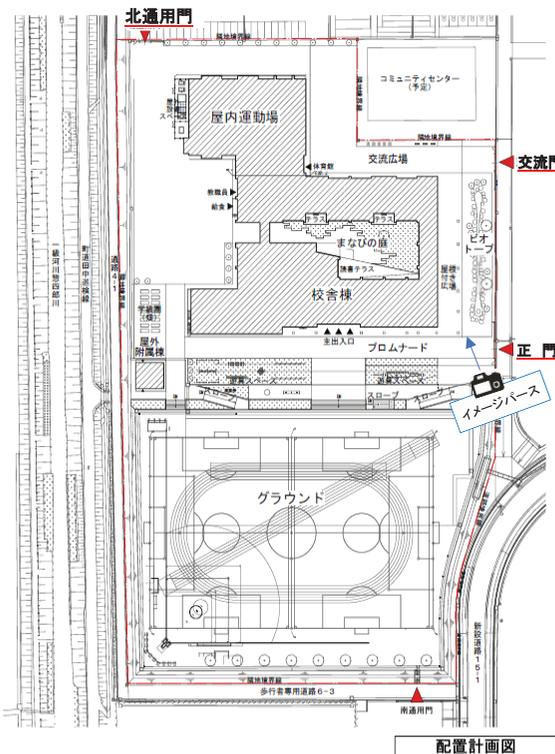
体育館



1階平面計画図



2階平面計画図



配置計画図



竜王西小学校について

昭和63年の開校以来、地域に根ざした子どもたちへの教育、地域の交流や防災拠点として重要な役割を果たしている竜王西小学校についても、充実した教育環境となるよう、以下の対応を進めています。

- (1) 老朽化が進むトイレの改修を行います。
- (2) 防災拠点施設として、避難所環境の向上（体育館の冷暖房設備設置等）に努めます。
- (3) 平成31年2月に教育施設の今後のあり方検討委員会においてまとめられた検討結果に基づき、長寿命化に向けた大規模改修について検討を進めます。
- (4) 水泳授業については、竜王小学校と同様に総合運動公園の温水プールを活用することについて、学校と協議検討を進めています。

